

～ 2年 書写の学習 ～

7月9日（水）5校時に国語科・書写研究部会授業研究会があり、市内各小学校の担当の先生方が2年2組の書写の授業を参観しました。

書写の学習では、硬筆であっても毛筆であっても、ただ書くだけでは上達しません。整った字を書くためのポイントを確認し、それを意識して練習することが大切です。書写の教科書には、「しょしゃのかぎ」としてそのポイントが示されています。

今回は、「車」という字を整えるために、どうすればいいのかをみんなで考えながら授業が進んでいきました。その中で、「車」という字には横画がたくさんあり、「しょしゃのかぎ」である「画と画の間をそろえる」ということが大切であることに、どの子も気付くことができました。「点画ピース」や「団子四兄弟」などの視覚的支援はとても効果的だったと思います。また、子ども達のがんばりを認め、励ます声掛けであったり、正しい姿勢や鉛筆の持ち方の確認であったりもすばらしかったと思います。改良を重ねたワークシートのおかげで、子どもたちは最後まで、集中力を切らさずに、整った字を書こうとがんばっていました。

授業の最初に書いた「ためし書き」の「車」と最後に書いた「まとめ書き」の「車」という字を比べた時には、どの子も整った字への改善が見られ、とても満足そうでした。「次もがんばろう！」とか「もっと書きたい！」という声が聞こえてきて、うれしかったです。これからも、こうした子どもたちの姿が見られるように、教職員みんなで研鑽を積んでいきたいと思っています。

最後に、2年2組のみなさん、よくがんばりましたね。これからも整った字が書けるように、がんばろうね！

西神吉っ子の一コマ



よくがんばりました！！

